

■ 従来方式

仕様を発注者において決定し、設計・建設・維持運営をその都度個別に発注するこれまでの方式。

メリット：発注者の意向（公共施策）を反映しやすく、民間事業者に求める能力分野を分散して別々に発注できることから、地元の企業も参入がしやすくなる。

デメリット：設計段階で、維持管理、運営のノウハウを反映しづらく、利用者のサービス低下に影響を与えることなども懸念される。

■ 民間ノウハウ活用方式

設計・建設や、設計・建設・維持管理・運営等を一括で民間事業者が発注する方式。

メリット：・民間事業者のノウハウの活用や事業者連携の強化、コスト削減・品質向上が期待される。

・一回の入札で済むため、入札から整備または運営までに要する事業全体での期間や事務作業が軽減できる。

デメリット：・公募段階で事前調査や事業者選定のための公募要件等を全て整備しなければならないため、事前手続に時間を要する。

・応募側も設計・建設・運営のチームを組成する必要があるため、参加のハードルが高くなる。

・契約の期間が長くなりすぎると、市の政策が反映しづらくなる場合があるなど、長期的な事業展開にリスクが発生する恐れがある。

項目	従来方式	民間ノウハウ活用方式	
		設計・施工一括方式	PFI方式※
概要	公共が、基本設計、実施設計、建設、維持管理、運営を個別に民間事業者が発注する。	公共が、設計、建設を一括で民間事業者が発注し、維持管理、運営を別途民間企業が発注する。	公共が、設計、建設、維持管理、運営を一括で民間事業者が発注する。
資金調達		公共 (一般財源、起債、交付金・補助金)	民間 (銀行借入)
府中市内 過去事例		本町保育所	ルミエール府中
他自治体 学校事例		立川市三中(R6年度)・三小(R7年度) (DB選定・契約予定年度)	町田市2地区小学校整備等PFI*事業 (BTO方式、R6年9月事業契約予定、 事業期間：19年間想定)

※PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブの頭文字）：

民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法